

質問者 天水中学校 坂門 迪亮 議員 教育総務課

1 玉名市の将来像について

③ 少子化により、小学校が統合され、使われなくなった校舎があると思うが、今後どのように活用する予定なのか

(答弁者 教育部長)

天水中学校 さかどみちあき 坂門迪亮議員の質問にお答えいたします。小天東小学校が閉校となり、小学校の跡地はどうなるのだろうか、ご心配いただいていることと思います。

はじめに、先に統合した玉陵中学校区の状況について説明します。平成30年4月に玉陵中学校区の6つの小学校が統合し、玉陵小学校が開校しました。開校までに、地域、保護者、学校の代表で話し合う、新しい学校づくり委員会の中で跡地の活用についても検討がなされました。しかしながら、なかなか具体的な活用策を見出すまでには至りませんでした。同時に、市の関係各課でも跡地の活用については検討を重ね、その結果、玉名小学校跡地については、「くまもと県北病院」として活用することになり、ご存じの通り、今年の3月に開業したところです。また、石貫小学校跡地について

は、文化財の保存施設としての活用を検討することになりました。

他の4つの小学校の跡地については、閉校後、「跡地を活用して事業を行いたい」といった問い合わせが、民間の事業者から玉名市に寄せられるようになりました。そこで、市役所内で検討した結果、「学校跡地は土地建物を含めて一括して売却する」ということ、そして、「その活用については、民間事業者の活力やノウハウ、創意工夫を活かした提案を広く募り、最適と考えられる事業者を選定する『公募型プロポーザル』という方法で決定する」こととしました。

その結果、三ツ川小学校の跡地はキャンプ場での活用と共に、福祉関係施設として、また、小田小学校の跡地は食事の宅配やデイサービスなどの福祉事業所として、現在、実際に民間の事業者を活用していただいているところです。なお、梅林小学校と月瀬小学校の跡地については、まだ活用が決まっていません。

小天東小学校の跡地については、市としては、玉陵中学校区と同様、公募型プロポーザルによる民間事業者での活用を考えています。事業者を選ぶ審査会には、大学の先生等の有

識者や地域の方にも審査員としてご協力いただき、地域の活性化や雇用に繋がるような事業者を選定したいと考えています。坂門議員から提案いただきましたキャンプ場とワークスペースを備えたワーケーションなどの事業についても非常に良い案と思いますし、小天東小学校ならではの立地条件を活かした利活用となるような提案を期待しているところです。